A GUIDE TO YOUR HOME

暮らしを描く、
その理由。

六つの住まいから読む、家工房の設計。



好きな景色も。いつもの一日も。
土地の有無にかかわらず、暮らしの話から。

家工房 / 創建築工房株式会社

01 / OUR PHILOSOPHY

間取りの前に、
暮らしの話を。

何部屋ほしいか。その希望が生まれた理由まで。

忙しい朝、休日の過ごし方、趣味や仕事。いまの家で気に入っていることと、変えたいこと。家工房は、そんな暮らしの話を伺うことから住まいを考えます。

このガイドでは、一邸ごとに異なる希望と、その設計の工夫をたどります。

01 者と音の家 / 中庭と、整った暮らし

02 court house HIRAYA / 変形地の平屋と、暮らしの再設計

03 囲のイエ / 南道路の庭と、空間を活かす工夫

04 Chill out house / 趣味・仕事・家族をつなぐ半平屋

05 高低差を活かす住まい / 高低差2.5mと、総予算からの設計

06 星空リビングのあるリゾートモダンな家 / 中庭・ヌック・屋上に広がる居場所

CASE 01 / 市川市 K様邸

外の視線を抑え、
庭へ大きく開く。

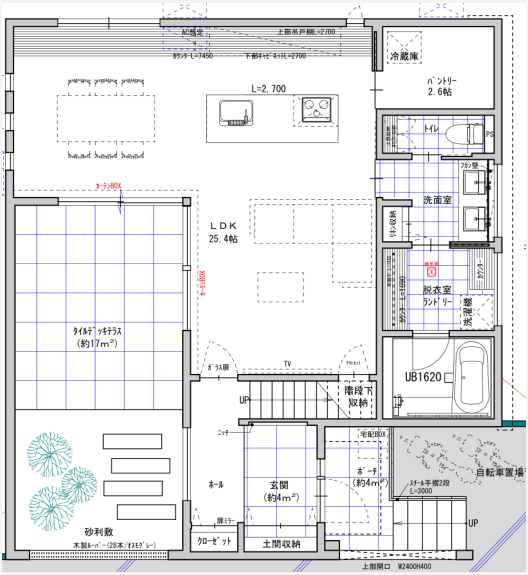


者と音の家

周囲の視線を気にせず、広々と過ごしたい。生活感を抑えた空間にしたい。その希望を、中庭・収納・家族の動線から考えた住まいです。

CASE 01 / READING THE PLAN

希望と、間取りを
重ねて読む。



2024年6月10日の計画案を抜粋。竣工写真とは一部異なる場合があります。

CASE 01 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

01 外には閉じ、庭へ開く。

周囲の視線を気にせず、くつろぎたい。

道路側を壁と縦格子で囲い、LDKを中庭に沿ったL字型に配置。リビングでも食卓でも、庭の景色を感じられる構成です。

02 美しい景色は、しまう場所から。

生活感を抑え、すっきり暮らしたい。

冷蔵庫や食品、備蓄品はパントリーへ。収納の量に加え、どこから見えるか、どこで使うかを考えています。 テレビにつながる配線や機器は階段下収納へ。背面から手入れできる配置にし、パントリーにはインターホンや照明の操作部もまとめています。

03 家族が同時に使える水まわり。

忙しい毎日の身支度を整えたい。

ダブルボウルの洗面台を設け、洗面と脱衣を分けています。洗濯・着替え・くつろぐ場所のつながりも、間取りの一部です。

CASE 02 / 取手市 T様邸

二度目の家づくりで、暮らしを設計し直す。

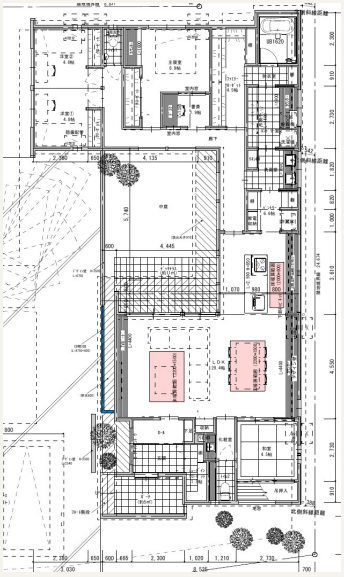


court house HIRAYA

一度、注文住宅を建てた経験のあるご家族。希望は反映されていても、実際の暮らしでは使いづらさが残りました。再び理想の家を目指すにあたり、約50社の資料を取り寄せ、約6社に絞って検討。家工房は、要望の背景を伺い、T字型の敷地で平屋・中庭・車2台をどう両立するかから提案しました。

CASE 02 / READING THE PLAN

希望と、間取りを
重ねて読む。



2023年4月23日の計画案を抜粋。竣工写真とは一部異なる場合があります。

CASE 02 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

01 T字型の敷地を、余さず使う。

平屋も、中庭も、車2台の使いやすさも。

進入路の狭い敷地延長の土地で、駐車のしやすさと建物の配置を一体で検討。約20畳の中庭を設け、外の視線を抑えながら内に開く平屋としました。中庭は当初の予算を踏まえて土間仕上げにし、将来タイルを貼る楽しみも残しています。

02 廊下に、景色と距離をつくる。

ワンフロアの便利さと、落ち着きを両立したい。

LDK・キッチンまでを家族や来客が過ごす側、水回り・寝室・子供室をプライベート側に分けました。あえて中庭沿いに回廊を配置し、生活空間を直接つなぎすぎず、光の入る庭を眺めながら移動できる構成です。和室脇の来客用トイレは手前に空間を挟み、音や存在感にも配慮しています。

CASE 02 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

03 料理から洗濯、収納まで回遊する。

家事を短く、扉の開閉も少なく。

キッチン・パントリー・洗面・ランドリー・4.5畳のファミリークロゼット・廊下を回遊動線でつなぎました。乾太くんで乾燥した衣類を近くで収納でき、個室側からも使いやすい配置です。ダブルボウルの洗面と、脱衣・ランドリーの区切りにはポケット引き戸を採用。普段は開放し、必要なときに仕切れます。 ランドリーの造作カウンターと乾燥機は、使う方の身長に合わせた高さに。乾燥機の配管を隠す前板は取り外せるようにし、手入れのしやすさも残しています。

04 和室はつながり、LDKの形は整う。

和の居場所も、すっきりしたLDKも。

ダイニング側に和室を配置し、三枚引き戸でつなぐ計画。リビングとダイニングの整った形を保ちながら、開けば一体に、閉じれば独立した部屋として使えます。建物全体も引き戸を主体にし、以前の住まいで感じていた開き戸と動線の干渉を見直しました。

CASE 02 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

05 玄関までの道にも、緑と奥行きを。

帰るたび、広がりを感じたい。

ポーチの植栽とスリット、玄関のピクチャーウィンドウを通じて緑へ視線を導きます。玄関から望む植栽は中庭とは別の場所。前面にデザイン壁を設け、外からの視線を遮りながらファサードの表情にもしました。深いポーチのレッドシダーの天井、張り出す壁、素材や色の違いで立体感をつくり、屋根や雨樋も目立ちにくく配置しています。

06 使い方から、細部を決める。

見た目だけでなく、毎日の扱いやすさまで。

広いシューズクロークと普段使いの下足入れを分け、日常の靴はホール側から扱えるようにしました。書斎は寝室に隣接しながら入口を廊下側だけに設け、寝室を通らず出入りできます。壁で作業の場を区切りつつ、上部の開口・室内窓を通じて寝室側の空調を利用する考え方です。 書斎の机は使うパソコンに合わせて奥行きを調整。座った目線で中庭を望めるよう、窓の位置も考えています。

CASE 02 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

07 光と機器を整え、穏やかな景色に。

くつろぐ時間の、光の表情まで。

ニュートラルカラーの内装に、調光できる間接照明と柔らかなレースカーテンを合わせました。カーテンレールは埋め込みのボックスへ。テレビにつながる配線を壁内に通し、機器は収納へまとめることで、目に入る機械的な部分を抑えています。

CASE 02 / ROOM TOUR

空間のつながりを、動画で。

距離や動線を、設計者の解説とともに。

外観・玄関・中庭とLDK ↗

素材と光、機器を隠す工夫。

家事の回遊動線・水回り・書斎 ↗

使う人に合わせた寸法と、空調を共有する書斎。

リンクを押すとYouTubeが開きます。

CASE 03 / 八千代市 S様邸

光と視線を整え、
家族の居場所を広げる。

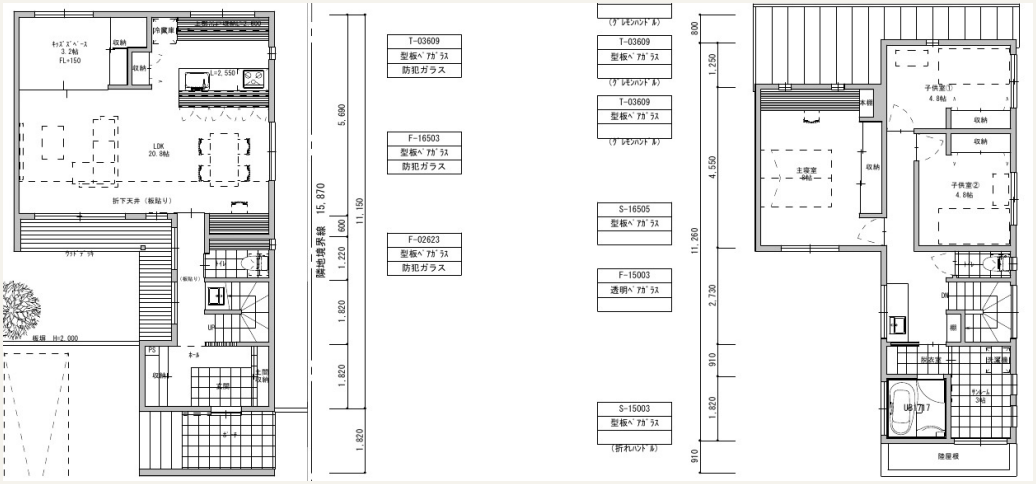


囲のイエ

土地探しの前に、プライバシーの保たれた暮らしをヒアリング。当初は北道路の土地との相性をお伝えしましたが、ご家族が気に入ったのは南道路の土地でした。限られた敷地と壁面後退の条件の中で、その土地に合う庭・光・暮らしの配置を考えています。

CASE 03 / READING THE PLAN

希望と、間取りを
重ねて読む。



2022年5月23日の計画案を抜粋。竣工写真とは一部異なる場合があります。

CASE 03 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

01 庭も玄関も、視線を受け止める。

外からの目を気にせず過ごしたい。

道路から建物までの距離を取り、南の光を受ける配置に。庭は板塀で囲い、道路から丸見えにならないようにしました。ポーチにも壁を一段設け、玄関を出た瞬間に通行人と目が合いにくくしています。囲うだけで圧迫しないよう、ポーチ自体の広さも確保しました。 板塀にはウリン材を採用。木が時とともに変化する表情も、庭の景色として楽しむ考え方です。

02 天井のつながりが、内と外を結ぶ。

和モダンの落ち着きと、広がりを。

L字型の玄関には二つの収納を設け、正面の縦格子で階段への視線を和らげています。玄関・廊下・LDKの一部、庭側の軒天を同じ高さのレッドシダーでつなぎ、廊下の窓も天井いっぱいの高さに。リビングは天井を少し高くして、切り替わりに間接照明を組み込みました。素材と高さの連続が、回廊のような広がりをつくります。

CASE 03 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

03 一階に、集まる場所と庭を。

限られた敷地でも、LDKをゆったりと。

水回りを2階に上げることで、1階に20畳以上のL字型LDKと庭につながる場所を確保。帰宅後すぐに手洗い・トイレへ行ける動線も整えました。リビングにつながる畳スペースには収納を設け、キッチン前面には造作収納を計画しています。 畳の小上がりには引き出し収納を組み込みました。仕切り用のロールスクリーンは機構が目立ちにくいよう納め、プロジェクターの投影にも使える計画としています。

04 廊下を、洗面と身支度の場所に。

移動するためだけの面積にしない。

2階の階段を上がったホールを、廊下兼洗面室・パウダールームとして使う計画です。通る空間に身支度の役割を重ね、限られた面積を活用。その先に脱衣室と浴室、南・東から光を受ける広いサンルームを配置し、室内干しができるようにしています。 ランドリーはファミリークロークとサンルームを兼ね、洗濯・室内干し・衣類の収納を近くにまとめています。

CASE 03 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

05 家族のそばに、それぞれの作業場所を。

趣味も仕事も、日常の中に。

ダイニング脇には奥様がミシンなどに使う趣味のスペースを設けました。LDKに入った瞬間には見えにくく、作業中の生活感にも配慮しています。ご主人には主寝室の長いカウンターを使った、リモートワークにも対応する書斎の場を用意しました。

06 家族の時間を、暖かさでつなぐ。

見た目と同じように、過ごし心地も。

この住まいでは床下エアコンを採用。床下で暖めた空気を各所の吹き出し口から取り込み、1階のLDKだけでなく廊下やトイレへも暖かさを届ける計画です。暮らしのつながりに合わせて、暖房の届き方も考えています。個別の採用例であり、すべての住まいの標準仕様ではありません。

CASE 03 / ROOM TOUR

空間のつながりを、動画で。

距離や動線を、設計者の解説とともに。

板塀・玄関・LDKと畳スペース ↗

光と視線、木のつながりをたどる。

床下エアコン・キッチン・2階の水回り ↗

造作収納と、移動の空間を活かす工夫。

リンクを押すとYouTubeが開きます。

CASE 04 / 一宮町 K様邸

海も、仕事も、家族も。
好きな暮らしを、一つに。

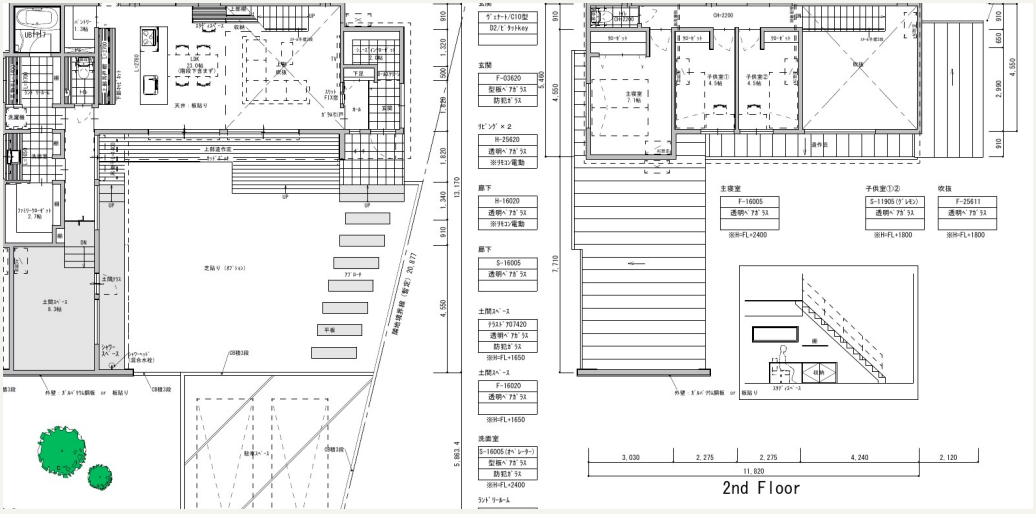


Chill out house

都内から海に近い一宮へ。リモートワークを中心に、必要な日は都内へ通いながら、サーフィンと家族とのゆったりした時間を楽しみたい。そんな暮らしに合わせ、家族の生活、趣味や交流、仕事の場所をつなぎながら住み分ける半平屋を計画しました。

CASE 04 / READING THE PLAN

希望と、間取りを
重ねて読む。



2022年11月20日の計画案を抜粋。竣工写真とは一部異なる場合があります。

CASE 04 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

01 土間は、仕事と趣味の自由な場所。

スニーカーの展示も、撮影も、自分らしく。

スニーカー販売とYouTube配信を行うご主人のために、土間を自由に使えるスペースとして計画。パーティクルボードを見せた壁にはDIYで棚を設けたり、商品をディスプレイしたりできます。仲間や来客を玄関・LDKへ通さずに話せるため、小さなお子様のいる家族の生活も守れます。

02 海から帰った動きまで、間取りにする。

濡れたまま、リビングを通らずに。

土間の脇にシャワースペースを設け、ウエットスーツを干せる軒下からウッドデッキへとつなげました。サーフィン帰りには、LDKを経由せず浴室・洗面へ向かえる動線を確保。趣味の後片付けと家族の生活が交錯しにくい配置です。 屋外シャワーは温水にも対応。砂を落とし、軒下にウエットスーツを掛けてから室内へ入る使い方を考えています。

CASE 04 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

03 開けた東側へ、L字に暮らす。

庭のそばで、ゆっくり過ごしたい。

西側の隣家からの視線に配慮しながら、建物のない東側へ庭を大きく開くL字型の配置です。リビングの大きな吹抜け、アイランドキッチン、階段下のスタディスペースも庭へ向けています。平屋部分と2階建て部分を組み合わせ、2階は必要最小限に。敷地と建築費を考えながら、平屋のような家事動線を目指しました。

04 見える面を整え、使うものは近くに。

日常の使いやすさも、すっきりした景色も。

玄関は大容量の土間収納と普段使いの靴の収納を分けています。キッチン奥にはパントリーを設け、冷蔵庫の奥行きは建物の裏側に逃がして室内側の面を整えました。張り出す外壁は目立ちにくい側へ。室内と外観の両方から、生活感の見え方を考えています。

CASE 04 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

05 ゆっくり暮らすために、家事は近くに。

趣味や子育ての時間を、日々の動線から。

キッチンの背面から、ランドリー・洗面・ファミリークロークへつながる回遊動線を設けました。室内で干して乾かし、そのまま衣類を収納できます。洗面とランドリーの間は引き戸で仕切れ、来客時に洗濯物や収納を見せずに洗面だけを使っていただけます。荷物を持って動く通路の幅も、広めに計画しています。

CASE 04 / ROOM TOUR

空間のつながりを、動画で。

距離や動線を、設計者の解説とともに。

海から帰る動線・趣味の土間・LDK ↗

庭と仕事、家族との距離を一緒に考える。

キッチン・洗濯と収納の回遊動線 ↗

スローライフを支える、毎日の家事の工夫。

リンクを押すとYouTubeが開きます。

CASE 05 / A様邸

難しい土地にも、
暮らしの可能性がある。



高低差を活かす住まい

道路から約2.5m下がった敷地で、希望の住まいが予算内に成り立つか。その検討から始まった家づくりです。土地の価格を抑えられる分を建築に配分し、高低差に対応する駐車場や玄関、庭に開くLDKを一体で計画しました。土地と建物を合わせた総予算から、実現できる暮らしを探した実例です。

CASE 05 / READING THE PLAN

希望と、間取りを
重ねて読む。



2022年9月24日の計画案を抜粋。竣工写真とは一部異なる場合があります。

CASE 05 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

01 車を置く場所から、庭の使い方まで。

車2台と、軽自動車を置ける余地を。

車好きのご主人の希望に合わせ、道路側の高さに鉄骨の駐車場を設けました。そこから階段で庭へ直接降りられ、バーベキューなどにも使いやすい配置です。駐車場の下は日陰となる屋外の居場所にも活用できます。完全防水の空間ではありません。

02 中間の高さを、空間の豊かさに。

高低差を、使える場所に変えたい。

玄関・ポーチ・ホールを2階床より少し低い位置に設け、その下に外物置・ガレージのように使えるスペースを確保しました。玄関から少し上がって2階の個室へ、下がって1階のLDKへ。玄関ホールは床が下がる分だけ天井が高くなり、広がりを感じる入口になります。 玄関から荷物を運ぶ動きに配慮し、階段の幅も広めに確保。高い位置の窓から、玄関・ホールへ光を導いています。

CASE 05 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

03 道路には箱の表情、庭には大きな窓。

シンプルな外観と、明るいLDKを。

道路側は窓を見せないボックスのようなシンプルモダンの外観に。一方、1階のLDKは広い庭へ向け、南側の大きな窓から光と広がりを取り込みます。道路側の印象と、庭に面した暮らしの開放感を、それぞれの向きに合わせて設計しました。

04 収納の奥行きまで、美しく使う。

家事がしやすく、生活感も整うように。

キッチン脇に家事デスクと棚・収納、パントリーをまとめ、作業や物が目立ちにくい場所を用意。冷蔵庫は背面カウンターから飛び出さないよう面をそろえ、その周辺の奥行きを洗面側とキッチン側で使い分ける収納にしています。形を整えることと、空間を使い切ることを一緒に考える「機能美」です。 家事デスクの脇にはプリンターやWi-Fi機器を置く棚を設け、リビングから見えにくくしました。洗面と脱衣・ランドリーも分け、乾燥機や作業台、ストック収納を近くにまとめています。

CASE 05 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

05 帰宅後の仕事にも、落ち着く場所を。

家でも集中して働きたい。

玄関から上がる2階に寝室と広い書斎を配置。リモートワークや、仕事から帰った後の作業ができるようにしています。家族で過ごす庭側のLDKと、集中する個室側を立体的に分けました。

CASE 05 / ROOM TOUR

空間のつながりを、動画で。

距離や動線を、設計者の解説とともに。

高低差・駐車場・玄関・LDK ↗

道路から下がった土地を、立体的な暮らしへ。

キッチン・家事動線・水回り・書斎 ↗

見え方と使いやすさを両立する収納。

リンクを押すとYouTubeが開きます。

CASE 06 / 千葉市美浜区 I様邸

日常の中に、
いくつものくつろぎを。

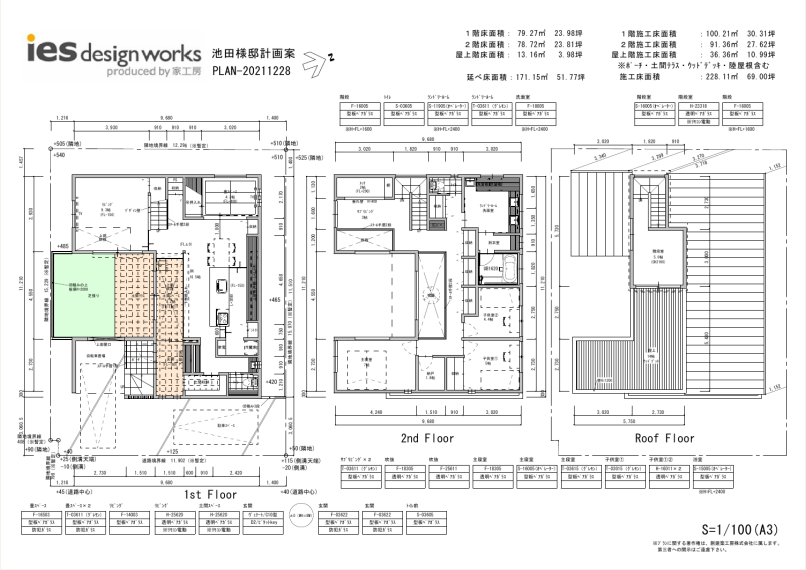


星空リビングのあるリゾートモダンな家

家にいながら、リゾートのようにくつろぎたい。その希望を、豪華な設備だけでなく、家族それぞれが居場所を選べる間取りにしました。中庭に面する1階、ヌックのある2階、空へ開く屋上。異なる三つのリビングが、毎日に過ごし方の選択肢をつくります。

CASE 06 / READING THE PLAN

希望と、間取りを
重ねて読む。



2021年12月28日の計画案を抜粋。竣工写真とは一部異なる場合があります。

CASE 06 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

01 通り土間から、中庭へ抜ける。

帰った瞬間から、外とのつながりを。

玄関からダイニングへ続く通り土間に吹抜けを重ね、その先の中庭へ視線を通しました。庭側の開口は大きく開けられる納まりに。室内と庭を行き来する楽しさや、土間に腰掛けるひとときも、住まいの一部になります。

02 少し下がると、くつろぎ方が変わる。

一緒にいながら、落ち着く距離も。

中庭を囲むダイニングとリビングに、少しの床の高低差を設けました。壁で完全に区切らず、同じ庭を別の角度から眺める構成です。小上がりの畳スペースも加え、集まる、横になる、静かに過ごす、それぞれの居場所を用意しています。

CASE 06 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

03 見せる場所を、別の動線で支える。

くつろぐ景色に、生活の物を出しすぎない。

玄関は来客用の入口と、シューズクロークからキッチン側へ向かう家族用の動線に分けました。キッチン奥に冷蔵庫や収納をまとめ、外出用のコートを掛ける場所も近くに。階段脇の収納には配線機器や掃除ロボットの置き場所を設け、広い空間を使い続けやすくしています。

04 洗濯の作業を、ゆとりのある一か所に。

洗う、乾かす、畳むを、無理なく。

2階の洗面・ランドリーには、洗濯機とガス乾燥機を組み込む造作家具、作業台、収納をまとめました。室内干しやアイロン掛けにも使え、立ち回りやすい幅を確保。脱衣室は分け、身支度と入浴が重なっても使いやすい配置にしています。

CASE 06 / DESIGN NOTES

この間取りに、
した理由。

05 2階にも、部屋へ戻る前の居場所を。

一人でも、家族のそばでも。

階段を上がった先はサブリビング。隣のヌックには本棚を造作し、腰掛けて読書を楽しめる小さな居場所にしました。寝室や子供室だけで終わらない2階に、家族がそれぞれのペースで過ごせる余白をつくっています。

06 三つ目のリビングは、星空の下に。

家にいながら、非日常を楽しみたい。

屋上にはジェットバスとミニキッチンを設け、夜景や空を眺めて過ごせる場所にしました。タープを掛けられるフレームも備え、日常の団らんから屋外で楽しむ時間へ。庭と室内に加え、空に向かう居場所を重ねています。

CASE 06 / ROOM TOUR

空間のつながりを、動画で。

距離や動線を、設計者の解説とともに。

1階｜通り土間・中庭・LDK ↗

家族と来客の動線、段差が生む居場所。

2階・屋上｜ヌックと星空リビング ↗

家事の工夫から、屋上で過ごす時間まで。

リンクを押すとYouTubeが開きます。

QUALITY BEHIND THE DESIGN

好きな空間を、
心地よい住まいへ。

01 空間を支える、構造。

希望する間取りと構造を合わせて検討。木造軸組工法に加え、計画に応じたSE構法の選択肢があります。

02 窓と断熱を、一緒に。

窓の位置や大きさ、断熱の計画を合わせて考え、採用する仕様を確認します。

03 毎日触れる、素材。

無垢床や建具、外壁の質感。好みと手入れのしやすさ、使い方から選びます。

04 使う人から、設備を選ぶ。

キッチンや洗面、洗濯まわりを、暮らしと家事の進め方に合わせて考えます。

掲載写真には個別仕様・オプションを含みます。採用仕様と費用の範囲は、計画・見積もりでご確認ください。

03 / HOW WE BUILD YOUR HOME

家づくりの進め方
相談から、設計へ。

いま、何から始めればいいのか。次に、何を決めるのか。家工房では、ご家族が送りたい日常を聞き、土地と予算を一緒に考えながら、住まいのかたちを探ります。

01 相談で、暮らしの話をする

朝の支度や休日の過ごし方、いまの家で好きなところ。普段の暮らしから、ご家族が大切にしたいことを伺います。気になる写真が一枚あれば、そこからでも話せます。

この段階で確認 叶えたいことと、いま気になっていること

02 実際の住まいを見て、好みを確かめる

見学会では、写真だけでは分かりにくい天井の高さや、窓から入る光、部屋から庭までの距離を体感できます。気に入った理由を言葉にすると、設計の手がかりになります。

この段階で確認 自分たちが心地よいと感じる空間

03 土地と総予算を、一緒に考える

土地を探す方は、候補地を買う前に、希望する間取りや駐車、庭が成り立つかを検討します。土地をお持ちの方は、道路や高低差、周囲の視線などを確認。建物・土地・外構・諸費用まで含めて予算を考えます。

この段階で確認 敷地でできることと、土地・建物への予算配分

04 間取りの提案を受け、設計を進める

お聞きした希望と敷地の条件から、間取りや窓、庭のつながりをご提案します。なぜその配置にしたかを一緒に確認し、プランと概算見積もりに納得いただけたら、設計などの業務委託契約へ進みます。

この段階で確認 提案の方向性、概算見積もり、依頼する業務の範囲

03 / HOW WE BUILD YOUR HOME

家づくりの進め方
契約から、暮らしへ。

05 仕様と見積もりを詰め、工事を依頼する

図面を具体化し、キッチンや照明、素材、窓などを使い方に合わせて選びます。どこまでが工事に含まれるか、別途必要な費用はあるかを確認し、最終見積もりをもとに工事請負契約を結びます。

この段階で確認 図面・仕様、工事の範囲、最終金額

06 必要な手続きを経て、工事が始まる

建築確認など、計画に必要な手続きを経て着工します。基礎工事、上棟、内外装へと進み、工事の節目で現場を確認します。

この段階で確認 工事の予定と、現場で確認するタイミング

07 完成した家を確認し、引渡しを迎える

完成した住まいをご一緒に確認します。設備や建具の使い方、お手入れの方法を確認し、引渡しを迎えます。

この段階で確認 仕上がり、設備の使い方、引渡し後の連絡先

08 住み始めてからも、家を育てていく

暮らし始めて気づいたことや、お手入れで分からないこともご相談ください。点検や修繕を通じて、これからの住まいを見守ります。

この段階で確認 点検やメンテナンスの相談方法

土地の状況や計画の内容によって、順番が前後したり、並行して進めたりすることがあります。

FIRST, LET’S TALK

土地の前に、
暮らしの輪郭を。

土地をお持ちの方も、これから探す方も。まずはヒアリングで、希望する暮らしと家のイメージを具体化します。

01　土地を探している方

ヒアリングで希望を整理し、必要な家と土地の条件、土地と建物の予算配分を考えます。その後に土地探しと候補地の検討を進め、購入前に希望する暮らしが実現できるか確認します。

02　土地をお持ちの方・建替えの方

ヒアリングで希望を整理したうえで、敷地や周辺環境、法規条件を確認。建替えでは既存建物の状況も整理し、暮らしと条件を重ねて計画を考えます。

土地だけを決める前に、そこでどんな毎日を送りたいか。そんな話から始めませんか。

YOUR LIFE, YOUR HOME

まだ、
まとまっていなくても。

ヒアリングで話してみたいこと

□ いまの家で、気に入っていること・困っていること

□ 家族で集まる時間と、一人で過ごす時間

□ 庭、趣味、仕事。家で楽しみたいこと

□ 好きな写真や、心が動く素材・雰囲気

□ 土地の状況と、家づくりにかけたい総予算

すべてを決めてから相談する必要はありません。好きな写真が一枚でも、ご家族で考えていることが少しでも。暮らしの話を伺い、住まいの方向性を一緒に整理します。

THE CONVERSATION CONTINUES

叶えたい暮らしを、
話してみる。



六つの住まいは、それぞれ異なる暮らしの答え。次は、あなたの毎日から住まいを考えてみませんか。

家工房に相談する →

創建築工房株式会社 / 家工房
千葉県八千代市勝田台1-2-3 スモモハウス1F
047-483-6418